

# 長門市地域防災活動支援員養成講座

募集

※ごんごち：鬼や化け物などの恐ろしいものを意味する山口県方言で、幼児語として用いられる。

## ごんごち防災塾

天変地異

災いは、忘れたころにやってくると唱えた寺田寅彦が呆れてしまうような自然災害が毎年のように発生している。

発生確率が21%といわれていた活断層が熊本県で動いてしまった。

そこで長門市では、日頃から地域コミュニティ組織の活動に携わっている方々に「防災・減災」に関心を持って頂き、地域の防災活動を「縁の下の力持ち」として、支える「長門市地域防災活動支援員」を育成することにしました。将来、官民協働による防災ネットワークを充実させて、地域の防災力を高めたいと考えています。

つきましては、下記の内容[カリキュラム]で地域防災活動支援員養成講座を開催することにしました。

ご多忙と思いますが、奮っての参加をお願い致します。

熊本地震で大きな被害を受けた熊本城 [2016.4.19 撮影]



カリキュラム  
[日程]

### 全4回シリーズ

全てのカリキュラムを受講された方には、長門市地域防災活動支援員の修了証が発行されます。

第1回 日時 9月24日(土) 9:30~16:30

会場 長門市役所 3階会議室

#### ▶学識者の防災講座

全国各地で「防災・減災」の研究や活動を指導されている大学の先生方を招いて、自然災害の脅威とこれからの地域防災をテーマに講義をして頂きます。

第2回 日時 10月15日(土) 9:30~16:30

会場 長門市役所 3階会議室

#### ▶地域防災ハード&ソフト講座

地域防災活動を推進する「公助(山口県)」の動き(ハード&ソフト)について、近年の地震活動について、大分地方気象台の次長に講義を頂きます。

第3回 日時 11月20日(日) 終日

模範モデル地域 視察研修

#### ▶地域防災活動を推進している地域を訪問

山口県知事表彰(自主防災組織部門)の表彰団体である①佐山地区自主防災会(山口市)と②白石地域づくり協議会(山口市)を訪問して、地域防災活動のヒントを探ります。

第4回

日時 12月25日(日) 9:30~16:30

会場 長門市物産観光センター 会議室

#### ▶クロスロード&訓練プラン作成マスター講座

地域防災活動の必修手法であるクロスロードと避難訓練の企画・運営「やり方講座」実践に役立つテクニックを習得します。

申し込み方法 長門市防災危機管理課に電話で直接、申し込んでください。

①名前 ②住所 ③電話番号 ④自治会・自主防災会・団体の名と役職を伝えてください。

電話 **0837-23-1111**

(ごんごち防災塾 担当 末永 まで)

# ごんごち防災塾 [講師紹介]



## 学識者の防災講座（講演 講師）



山口大学大学院理工学研究科 准教授  
瀧本 浩一（たきもとこういち）（50才）  
専 門：防災とまちづくり、防災教育、社会知能情報学  
平成27年度4月から総務省消防庁消防大学校 客員教授に着任し、県市町村の防災担当者職員研修で『地域の防災力を高めるための方法』などの指導を行っている。  
主な著書は、増補・改訂版 地域防災とまちづくり—みんなをその気にさせる災害図上訓練 イマジン出版、日本の自然災害 M8.0大地震襲来（共著）日本専門図書出版など



熊本大学名誉教授 [株式会社中央土木コンサルタント勤務]  
北園 芳人（きたそのよしと）（66歳）  
専 攻：地盤環境工学（斜面災害、地盤防災、防災教育）  
主な著書（共著）「九州・沖縄の特殊土地盤の設計と施工」地盤工学会九州支部、「地盤環境読本」地盤工学会、「熊本周辺地盤図」熊本県地質調査業協会地盤図編纂委員会、「豪雨時における斜面崩壊のメカニズムおよび危険度予測」地盤工学会、「これから防災を学ぶ人のための地域防災学入門」熊本大学防災まちづくり研究会編など。



福岡大学経済学部 教授  
辰己佳寿子（たつみかずこ）  
ネパールや山口県の山間地にてフィールドワークを行い、多様で豊かな生き方が可能となる地域社会のあり方を模索している。  
専門は地域社会論。  
主な著書は、『国境をこえた地域づくり』（新評論）、  
「居場所づくりを始めたネパールの女性たち」『現代アジアの女性たち』（新水社）など。

## 地域防災ハード&ソフト講座（講師・ワークショップ）

- ▶防災ワークショップ（グループに分かれて、地域防災力を高める活動計画案を抽出する）  
ファシリテーター NPO法人ぼうぼうネット 山崎 隆弘（やまざきたかひろ）
- ・ 講義Ⅰ. 山口県柳井土木建築事務所 所長 杉山 滋（すぎやましげる）  
※山口県の河川「いい川・こわい川」について、語って頂く。
- ・ 講義Ⅱ. 山口県土木建築部 河川課 主幹 廣川 昭典（ひろかわあきのり）  
※国交省が進めている防災ソフト事業（ハザードマップ、タイムラインなど）を解説して頂く。
- ・ 講義Ⅲ. 気象庁 大分地方気象台 次長 大西 徹（おおにしとおる）  
※熊本で発生した活断層地震、どこでも起きる活断層地震について、語って頂く。
- ・ 講義Ⅳ. 基礎地盤コンサルタンツ（株）山口支店長 山本 一夫（やまもとかずお）  
講義Ⅰ. Ⅱ. Ⅲ. Ⅳ. を聞いて、各グループでこれからの地域防災活動の進め方、命を守る行動を推進するためのディスカッション行う。

## 視察研修（視察先）

- ▶地域防災活動模範モデル地区
- ・ 山口市佐山地区「佐山地区自主防災会」からこれまでの官民協働型の防災活動（自治会連合会＋消防団＋11自治会防災リーダー＋地域交流センター）の進め方・考え方・人づくりについて、ヒントを得る。
- ・ 山口市白石地域づくり協議会で取り組んでいる小さな地域コミュニティ防災活動（官民共同型）の進め方（ワークショップ・踏査・プラン作成・訓練実行）を視察する。

## 地域防災活動必修手法の習得（指導）

- ▶災害対応カードゲーム「クロスロード」（防災教育教材）
- ・ クロスロードを用いて、地域の防災意識（東日本大震災の啓発）を高める活動を進めてこられた仙台市消防局 太田 千尋氏を招いて、クロスロードの考え方・使い方を習う。
- ▶小さな地域コミュニティ防災活動の進め方
- ・ 地域防災活動の進め方（地域住民参加ワークショップ、地域防災図上訓練、イメージネーショントレーニング、訓練を実行までのプログラムづくり）について習う。  
指導は、NPO法人ぼうぼうネットDIG 山崎 隆弘が行う。